美・サイクル館と友にきれいな留萌のまちづくりをすすめましょう

廃棄物処理施設建設推進室
主幹 桜庭俊郎

いよいよ美・サイクル館が4月1日から稼働します。平成4年度からモデル地区を設定し実施してきたごみの分別収集は、皆様のご協力によって確実にその目的を果たしてきました。そして昨年10月からは市内一斉にごみの分別収集がはじまり、留萌の豊かな自然環境に適応したまちづくりが、また一歩前進しました。

このシステムができるまで、多くの方々の努力と協力がなければ実現しませんでした。

特にこの施設の建設場所の問題で、藤山地域の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。

このシステムが完成するまで、決して楽な道程ではありませんでした。初めての試みに不安や迷いがいつも交差していました。正直なところ、私たち職員も疲労感を隠せない状況になったのも事実でした。

そんな時、力になってくれたのが市民からの励ましの声でした。

特に主婦のみなさんからは**「街がきれいになったね。良いことなんだから頑張ってね。私たちも頑張るからね」**と励まされました。

本当にこの言葉に助けられました。お陰様で、出されるごみの量は減少し、その効果は確実に現れています。

環境を守るために多くの人が、いろんな形で頑張っています。

昨年末に開催された地球温暖化防止京都会議をきっかけに、環境に対する意識が高まるなか、CO_2の発生を減らす工夫やダイオキシンの抑制など、美しい地球を守るため、世界の国々が、そして人々が環境問題に取り組んでいます。

4月1日から本稼働する「資源循環型処理施設ー美・サイクル館」は、言わばごみの加工工場です。分別されて運ばれてきたごみは、ここで新たな命を吹き込まれ、いろいろな人たちの手によって新たな製品として生まれ変わり、みなさんのもとへと戻っていきます。

また、資源循環型社会の形成と環境美化の推進による市民の健康で快適な生活の確保を目的に、市民の責務を決めた条例が改正または新しく加わり、きれいなまちづくりを目指した取組みが始まっています。

広報紙ではごみに関しての特集を連載してきました。その中では世界的に問題となっている地球温暖化やごみ処理問題などに対して世界的な取組みや事情、さらに各市で取決めをしている禁止条例などを紹介してきました。しかし、分別を守らない方や道路、川などにごみを捨てる、心ない方も一部見受けられます。とても残念に思います。

私たち一人ひとりがルールを守り、資源を大切にし、そして清潔できれいなまちづくりを進めなければなりません。

すてきな留萌のまちづくりを「美・サイクル館」と友にすすめましょう。

今日は、その各種機能、そして学習施設などを備えた「美・サイクル館」を一足早くご紹介します。

現在は試運転の真っ最中なので、直接見学できませんが、本稼働してからは皆さんに是非ゆっくりと見学していただきたいと思います。

では、美・サイクル館をご紹介しましょう。

3月31日で留萌市ごみ処理場(浜中町)は閉鎖します。